

2020年7月25日

# キャンプマナー向上への 提言書

東京都立芦花高等学校第三学年

ボーイスカウト東京連盟

杉並第9団 相澤 岳琉



そなえよつねに  
ボーイスカウト

# キャンプマナー向上への提言

ボーイスカウト東京連盟

杉並第9団 相澤 岳琉

## 1. キャンプ場における現状の問題

私は小さなころから両親にキャンプに連れて行ってもらっていました。その際は必ず来た時よりもきれいにしてから帰るようにと教わってきました。そのため今でもキャンプ場を利用した際は自分たちのグループが出したごみでなくてもキャンプ場内に落ちているゴミは拾うようにしています。しかし現在のキャンプ場ではあまりマナーの良くないキャンプ場利用者がありゴミのポイ捨てなどが目立っているように感じます。実際にキャンプ場に問い合わせてみるとゴミなどのポイ捨てなどが行われているとおっしゃっていました。その対策にキャンプ場はスタッフなどによるゴミ拾いなどを行いゴミが落ちていない環境をつくっているとおっしゃっていました。しかしそれでは**キャンプ場をきれいに保つことにも限界がある**と考えています。(詳細は別途調査報告書をご覧ください)

## 2. 課題解決のための提言

いくつかのキャンプ場に現状マナー向上へどのような取り組みを伺ったところ多くのキャンプ場でサイト内の見回り等を行い落ちているゴミを回収しているキャンプ場が多くありました。しかしそれでは**キャンプ場利用者のマナーが向上することなくキャンプ場側の負担が増えてしまう状況です。そこで今回キャンプ場利用者のマナー向上を図ることでキャンプ場内でのポイ捨てが減らせるのではないかと**考えました。そこで**「OLP」という標語を使い広めていくのがよい**のではないかと考えました。「OLP」とはオリエンテーション Orientation、リーフレット Leaflet、ポスターPosterの頭文字をとって作成した標語です。「OLP」による啓発活動を広めていくことで**日本全体のキャンプマナーが向上し多くの人が利用しやすいキャンプ場をつくることにつながると**考えます。

## 3. 具体的な内容

具体的な「OLP」の内容は、受付でのオリエンテーション、リーフレットの配布、水場や炊事場お手洗いなどゴミを放置されることの多い箇所にポスターを目につくように設置することです。受付でのオリエンテーションでは、利用者に必ず利用上のルールなどをきちんと伝えることができます。リーフレットでは、利用者がサイトに戻っても利用ルールなどを確認することができます。ポスターで実際に利用者が炊事場などを汚した際にもその場にポスターを設置することで、そのまま放置することなどを思いとどまらせることができるのではないかと考えています。

## 4. 対策後のイメージ

今回提案させて頂いた「OLP」を実際のキャンプ場に広めていくことでキャンプ利用者のマナーの底上げができると考えています。それによりキャンプ場スタッフによるサイト巡回などを減らすことが出来キャンプ場側の仕事を減らすことが出来ると思います。またキャンプ場をすべての人が気持ちよく利用できるようになると思えるため、**よりキャンプ場利用者が増えキャンプブームを支えることにもつながる**と思います。



そなえよつねに  
ボーイスカウト

# キャンプ場ゴミ問題調査報告書

調査概要	今回の活動は企画書、全体計画書、企画概要書に従って電話等を使用してキャンプ場など20施設に現状のキャンプ場の使用状況等について調査を行う
調査目的	キャンプ場での実際の状況などについて調査し改善方法を模索する
調査期間	2020年5月15日（金）～2020年7月18日（土）

取材結果				
番号	取材先名	応答	アンケート協力	返信
1、	川井キャンプ場	○	○	×
2、	地藏山キャンプ場	○	○	○
3、	氷川キャンプ場	○	○	○
4、	YMCA キャンプ場	○	○	○
5、	ふもとつばらキャンプ場	○	○	○
6、	道志村 久保キャンプ場	×		
7、	滝沢園キャンプ場	○	○	○
8、	道志の森キャンプ場	○	○	×
9、	田貫湖キャンプ場	○	○	○
10、	ハートランド・朝霧キャンプ場	×		
11、	大野路ファミリーキャンプ場	×		
12、	朝霧ジャンボリーオートキャンプ場	○	○	○
13、	ケニーズ・ファミリービレッジオートキャンプ場	×		
14、	龍神の森キャンプ場	○	○	×
15、	西湖キャンプ場テント村	×		
16、	善心道場 青木の平キャンプ場	○	○	○
17、	日影沢キャンプ場	×		
18、	みの石滝キャンプ場	×		
19、	大岳キャンプ場	×		
20、	富士ヶ嶺おいしいキャンプ場	○	○	×
計		12	12	8

※応答がなかった施設においては平均3回以上連絡を試みた。



# 調査レポート

## 1. 問題意識

私は、ボーイスカウトに入隊する以前から家族でよくキャンプに行っていた。その際によく山菜採取と共にキャンプ場内のゴミ拾いを行っていた。その習慣もありボーイスカウトの精神である「来た時よりもきれいにして帰る」や「キャンプ場に残すものは感謝のみ」などの大切さは他のスカウトよりも理解していると考えている。

しかし、今日本ではマンガやドラマなどによってキャンプブームが到来している。それ自体はデジタル社会によってインドア派が増えている中多くの人がアウトドアに興味をもちよい傾向だと考える。しかしキャンプ場内にゴミをポイ捨てする人や夜間に大騒ぎをする人、焚火などの後片付けなどを一切せずに帰ってしまう人などが多くなってきていると感じている。実際自団の2019年の夏キャンプを行ったYMCAキャンプ場でも火の不始末やキャンプサイトにゴミを捨てていくグループを見かけた。このことから今回富士プロジェクトとしてキャンプ場の現状についての調査やそれにもとづいた改善点などについて調べたいと考えた。

## 2. 調査方法

電話で取材の経緯などについて話し取材の許可をもらい、別途FAXで質問などについて記載した下記アンケート用紙を送信する。回答したアンケート用紙は自宅にFAXで送信していただく。その後返信されたものをまとめ、現在のキャンプ場がどのようなことに困っているかを把握する

**キャンプアンケート**

この度は、アンケート調査にご協力ありがとうございます。以下のアンケートにご協力お願いします。

施設名	
氏名	

1. 施設はどのような方が使用していますか？

\_\_\_\_\_

2. この3年間で施設利用者は増加しましたか？ YES・NO

3. 施設はどのような方が多くご使用になっていますか？

\_\_\_\_\_

4. 施設敷地内に利用者がゴミを捨てていくことはありますか？ YES・NO

5. どのような団体がよくゴミを捨てていきますか？

\_\_\_\_\_

6. この3年間で利用者がゴミを捨てていくことは増えましたか？ YES・NO

7. 利用者のゴミをキャンプ場が回収していますか？ YES・NO

↓  
有償・無償  
↓

いくらか回収していますか？

Lあたり 円

1

8. 利用者のマナーで困っている事はありますか？

\_\_\_\_\_

9. ごみのポイ捨てへの対策は行っていますか？

\_\_\_\_\_

10. その他利用者のマナー向上への取り組みを行っていますか？

\_\_\_\_\_

その他、ご意見や感想がございましたらご自由にお書きください。

\_\_\_\_\_

ご協力ありがとうございました。

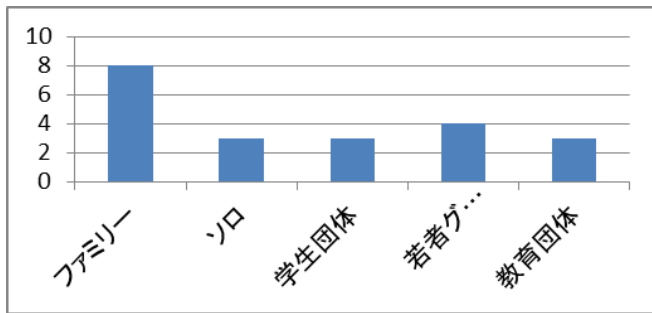
送付先  
相澤岳穂(あいざわたける)  
電話番号 080-9280-5666  
FAX 03-3306-4206  
MAIL [boy\\_scout\\_euri\\_stakers@gmail.com](mailto:boy_scout_euri_stakers@gmail.com)

2

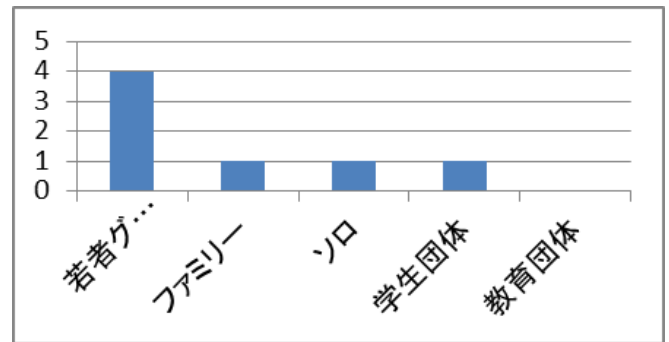


### 3. 調査結果 (4、以外は複数回答可)

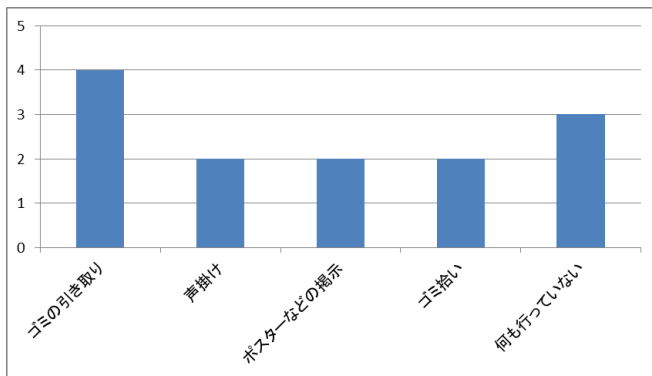
#### 1、キャンプ場利用者



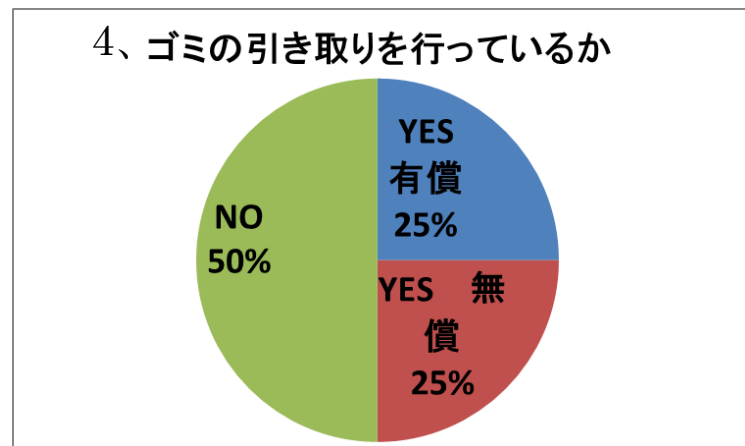
#### 2、マナーの良くない団体



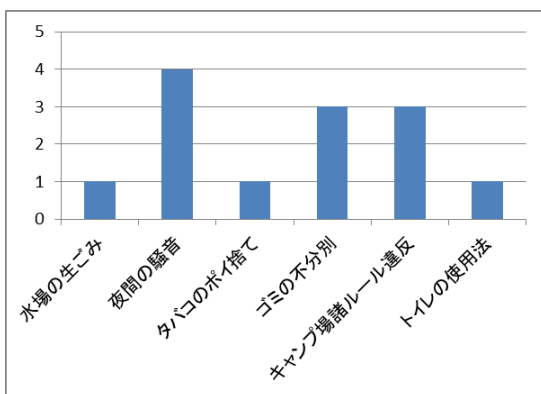
#### 3、ゴミのポイ捨てに対する対策



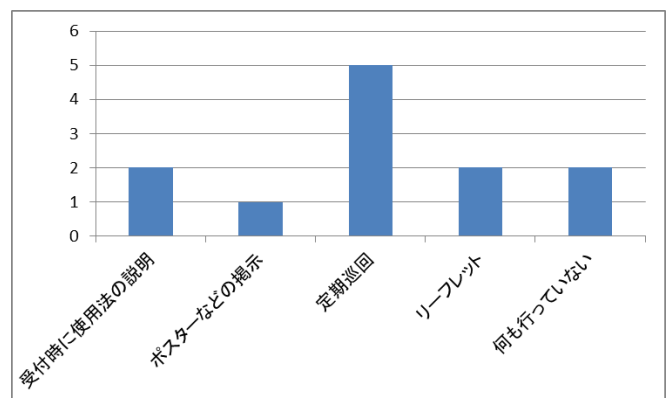
#### 4、ゴミの引き取りを行っているか



#### 5、その他のマナー違反



#### 6、マナー違反に対する対策



# 4. 調査結果の分析

今回のアンケート調査では2個の予測を立て調査を行った。

1つ目の予測は、キャンプ場利用者の中でも特に若者(20代~30代)の利用者が特にマナーが悪いのではないかと考えた。なぜなら、私自身ボーイスカウトの活動などで実際にキャンプ場を利用している夜中までテントサイトで大声を出して騒いでいる様子やゴミや燃えカスなどをキャンプサイトに残しているところを何度か見かけたからだ。

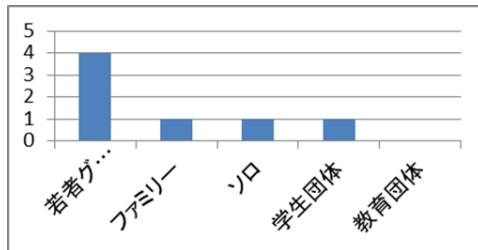
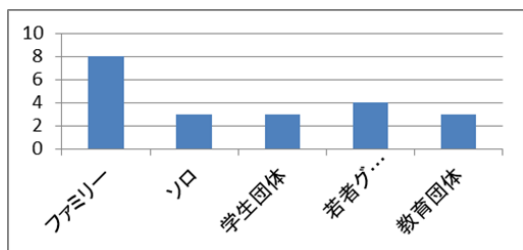
2つ目の予測は、多くのキャンプ場でゴミの引き取りを行っており、そのことが、サイト内のポイ捨てなどを防いでいると考えた。なぜなら、サイト内にポイ捨てを行う利用者の心理としてはキャンプ中に出たゴミなどを自身の車や電車などで持ち帰ることに抵抗がありその場に置いていくと考えたからだ。

実際にアンケート調査を行ったところ、予想通りと予測とは違う結果をそれぞれ発見することができた。

まず1つ目の予測はアンケート調査からも裏付けることができた。実際にアンケート項目の5の「どのような団体がよくゴミを捨てていきますか」という項目に約半数以上のキャンプ場が若者の大勢の団体と回答していた。このことから1つ目の予測を裏付けることができた。このことから、キャンプマナー向上を図るためには若者のマナーに対する意識を向上させることが必要になると考える。

## 5. どのような団体がよくゴミを捨てていきますか?

比較的若年のグループ(子連れではない)が多い印象 (風の強く吹きやすいので、早くゴミを飛ばすために捨てる人が多い)



### 1、キャンプ場利用者

### 2、マナーの良くない団体

次に2つ目の予測については実際に調査を行うとキャンプ場でのポイ捨てとゴミの引き取りには大きな因果関係がないことわかった。むしろ逆の因果関係があるように見える。しかしながら、サンプル数が多くないので断定するのは難しい、その理由を今回調べることはできない。

	ゴミの引き取りをしている	ゴミの引き取りしていない
ゴミを捨てていくことがある	4	1
ゴミを捨てていくことがない	0	3

いずれにしてもゴミの回収を行っていないキャンプ場でも利用者のゴミのポイ捨てに困っていないキャンプ場があることが分かった。ゴミのポイ捨てなどに困っていないキャンプ場には、受付時のオリエンテーションやポスター等の掲示物などによりゴミのポイ捨てを行わせない体制をつくっていることが分かった。また、私自身が実際に使用したことがあり、ごみのポイ捨てなどがなく気持ちよく利用することのできたキャンプ場では、定期的にスタッフの方が巡回してゴミや燃えカスなどを回収している事が分か



った。確かに定期巡回を行いキャンプ場側がゴミなどを回収することでサイト内にゴミなどが落ちていない状態にすることはできる。しかしこの方法では今後よりキャンプ場利用者の数が増えゴミなどを捨てていく利用者が増えた場合対応することが難しくなっていくと考える。

また、富士山 YMCA キャンプ場 のアンケートに興味深いことが記載されていた。それは、「ゴミがゴミを呼んだり生んでしまう可能性がある」

#### 9. ごみのポイ捨てへの対策は行っていますか？

ごみは基本的に持ち帰ってもっている  
たぶん、ごみもみつけたら、捨てるけれど、ごみのあちこちの  
環境をつくる。ごみやごみでよんだら、うんできち可能性的ある

なぜこの回答が興味深いと感じたかという、確かにゴミが捨てられている場所を見るとゴミ捨て場と書いていなくてもごみを捨てていい場所と感ずることがある。そのことから、サイト内にゴミが落ちていないことがポイ捨て等の抑制につながると考えている。

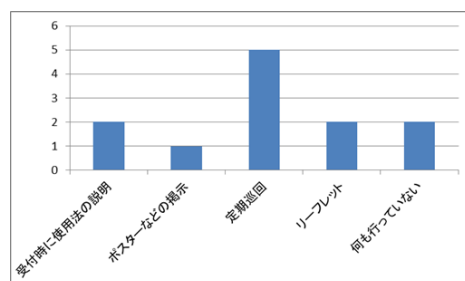
以上の調査結果と考察から考えることのできるキャンプ場でのゴミのポイ捨て等のマナー向上への対策案を挙げる。

現在マンガやテレビなどでキャンプ場について取り上げられている。また、COVID-19 の収束後のアフターコロナでは、今まで以上に3密を避けることができるアウトドアアクティビティ人口が増加することが考えられる。特に今まであまりアウトドアアクティビティに興味をもっていなかった若者が特に増えると考えられる。その中で全員がマナーを守り気持ちよくアウトドアアクティビティを楽しむことができ、環境に配慮できるかが重要になると考える。そのためには、いかにキャンプ場をきれいで過ごしやすい環境にするかがカギになると考える。なぜなら前述した、「ゴミがゴミを呼んだり生んでしまう可能性がある」という言葉を裏返せば「キレイはキレイを呼んだり生むことがある」となる。実際に駅などの公衆トイレなどにも、「キレイに使ってくださりありがとうございます。」と書かれたポスターを掲示してある場所がある。これも「キレイはキレイを呼んだり生むことがある」この二つには共通して、人はキレイに使われている場所やキレイに使用したことに感謝するポスターなどがある場所はキレイに使用する習慣があると考えられる。このことからキャンプ場をきれいに保つことがキャンプ場利用者のマナー向上につながると考える。

キャンプ場をキレイに利用してもらうための対策を何個か挙げるアンケート内のマナー向上のために行っている活動について聞いた欄に多くのキャンプ場が対策としてキャンプ場内を定期巡回しゴミ拾いを行っているキャンプ場が多くあった。

きれいに使っていただきありがとうございます

KEIO



6、マナー違反に対する対策



しかし今後キャンプ場利用者が増えた際キャンプ場スタッフだけで定期巡回を行いゴミの回収をしていては、マナーが向上せず、キャンプ場側の負担だけが増えてしまうと考える。そのため、いかに利用者にゴミを捨てさせないかが肝心となる。対策としては受付でのオリエンテーション、リーフレットの配布、水場や炊事場お手洗いなどゴミを放置されることの多い箇所にポスターを目につくように設置することなどがあげることができる。受付でのオリエンテーションでは、利用者に必ず利用上のルールなどをきちんと伝えることができる。リーフレットでは、利用者がサイトに戻っても利用ルールなどを確認することができる。ポスターで実際に利用者が炊事場などを汚した際にもその場にポスターを設置することで、そのまま放置することなどを思いとどまらせることができると考える。実際いくつかのキャンプ場では、ポスターやオリエンテーションなどを行うことでゴミのポイ捨てなどがないと回答したキャンプ場もあった。このことから、3つの啓発方法をバランスよく行うことでマナー向上が期待できると考える。

そこで「OLP」という標語を使い広めていきたいと考える。「OLP」とはオリエンテーション **O**rientation、リーフレット **L**eflet、ポスター **P**oster の頭文字をとったものである。「OLP」による啓発活動を広めていくことで日本全体のキャンプマナーが向上し多くの人が利用しやすいキャンプ場をつくることにつながると考える。

## 5.まとめ

今回のアンケート調査から、キャンプ場をきれいに保つことでマナーの底上げができるということが分かった。しかしそれはキャンプ場が落ちているゴミを拾うのではなく、利用者にいかにゴミなどを捨てさせないかが重要になる。そのためには、受付でのオリエンテーション、リーフレットの配布、ポスターの掲示の「OLP」の啓発方法によりマナー向上が期待できるのではないのでしょうか。

